

令和4年2月定例会 総務委員会（事前）

令和4年2月7日（月）

〔委員会の概要 未来創生文化部関係〕

井下委員長

休憩前に引き続き、委員会を開会いたします。（11時27分）

これより、未来創生文化部関係の調査を行います。

この際、未来創生文化部関係の2月定例会提出予定議案について、理事者側から説明を願うとともに、報告事項があればこれを受けることにいたします。

【提出予定議案】（説明資料，説明資料（その2））

- 議案第1号 令和4年度徳島県一般会計予算
- 議案第5号 令和4年度徳島県母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計予算
- 議案第32号 徳島県文化の森総合公園文化施設条例の一部改正について
- 議案第33号 東京オリンピック・パラリンピック徳島未来創造基金条例の一部改正について
- 議案第49号 令和3年度徳島県一般会計補正予算（第13号）

【報告事項】

- 「とくしま青少年プラン2022」（案）について（資料1-1，1-2）
- 「コロナ禍における子どもと保護者を対象とした実態調査」について（資料2）
- 鳴門総合運動公園野球場に係る今後の在り方に関する検討について

上田未来創生文化部長

それでは、総務委員会説明資料及び説明資料（その2）によりまして、2月定例会に提出を予定しております未来創生文化部の案件及び令和4年度主要施策の概要につきまして、御説明を申し上げます。

今回、御審議いただきます案件は、令和4年度一般会計・特別会計予算案及びその他の議案等といたしまして条例案が2件並びに令和3年度一般会計補正予算案でございます。

説明資料の1ページを御覧ください。

令和4年度未来創生文化部主要施策の概要について、3ページまで16項目を記載しておりますので、御説明申し上げます。

1の県民との協働事業の推進では、県民の参加と協働による地域づくりを実現するため、NPO等、県民の自主的、自立的な社会貢献活動を促進する各種支援事業を行うとともに、地域貢献活動への若者の参画を促進し、県民との協働事業の一層の推進を図ってまいります。

2の多様な主体の活躍推進では、多様な人々が持てる個性や能力を存分に発揮し、生き生きと活躍するダイバーシティ社会の実現を目指し、ユニバーサルカフェなど地域の交流や支え合いを支援するとともに、アクティブシニアの活躍支援、さらには、障がい者スポーツ、文化芸術活動の深化と交流促進を図ってまいります。

3の国際交流と多文化共生の推進では、グローバル人材の育成や地域の国際化を図るため、ドイツ・ニーダーザクセン州等との相互交流や多文化共生のまちづくりを積極的に推進してまいります。

4の人権を尊重する社会づくりでは、徳島県人権教育・啓発に関する基本計画に基づき、県民の皆様の人権意識の普及高揚を図るとともに、様々な人権問題の解決に向け、各種事業を実施してまいります。

5の男女共同参画社会の実現では、徳島県男女共同参画基本計画に基づき、男女共同参画の推進拠点であるときわプラザにおいて、女性活躍の機運醸成と意識啓発を推進してまいります。

また、配偶者暴力防止及び被害者保護に関する徳島県基本計画に基づき、普及啓発や相談、保護体制の充実、自立支援に取り組むとともに、よりそいの樹とくしまを運営し、性暴力被害の防止に関する対策を推進してまいります。

6の次世代育成支援対策の推進では、希望出生率1.8をかなえるため、結婚、妊娠・出産、子育てまでの切れ目のない支援を実施するとともに、待機児童解消に向けた保育士確保や認定こども園等の整備、新・放課後子ども総合プランの着実な推進など、地域の実情や子育て家庭の多様なニーズに応じた子育て環境の向上に努めてまいります。

7の青少年健全育成の推進では、とくしま青少年プラン2022に基づき、未来に向かって挑戦し、成長・活躍できる「とくしま」の実現に向け、全ての青少年の健やかな育成や未来を切り開く青少年の応援など県民総ぐるみによる青少年育成を推進するとともに、eスポーツやアニメなど、若者のニーズに応える新たな交流拠点として青少年センターを整備してまいります。

2ページを御覧ください。

8の子どもの未来に向けた支援強化では、深刻化する児童虐待に適切に対応するため、関係機関の相談支援体制を強化するとともに、里親養育の支援や児童養護施設等の多機能化を推進してまいります。

また、ひとり親家庭の自立に向け、就業、生活支援等、幅広い施策を推進してまいります。さらに、ヤングケアラーを早期に発見し適切な支援につなげるなど、子供が健やかに成長できる環境づくりに努めてまいります。

9の文化の振興では、あわ文化4大モチーフやあわ三大音楽を中心に、あわ文化の魅力を国内外に発信するとともに、2度の国民文化祭の成果を継承、発展させるため、県民が主役となる文化活動を積極的に展開し、次世代、後継者育成や地域活力の向上を図ってまいります。

10の徳島文化芸術ホール（仮称）整備の推進では、県民の文化活動の更なる促進やにぎわいの創出などを図るため、豊かで活力ある地域社会の実現に向けた中核施設として、県都のランドマークとなる徳島文化芸術ホール（仮称）の整備を推進してまいります。

11の文化財の保存・活用では、文化財の適切な保存とともに、利活用を通じて徳島の魅力発信を図るため、地域の特徴を示す様々な文化財の活用や環境整備を実施してまいります。

また、四国遍路、鳴門の渦潮の世界遺産登録や板東<sup>ふ</sup>俘虜収容所関係資料のユネスコ、世界の記憶登録を目指した施策を展開してまいります。

12の「文化の森総合公園」の魅力向上では、郷土徳島の文化等の特色を前面に打ち出した博物館新常設展を中心に、複合施設の特色を生かした魅力ある企画展等を実施し、誘客を促進するとともに、デジタルアーカイブ事業を推進し、各館所蔵資料の閲覧機会の増大を図ってまいります。

13の生涯スポーツの振興では、誰もがライフステージに応じてスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会を実現するため、総合型地域スポーツクラブ等を活用したスポーツに参加しやすい環境づくりを進めてまいります。

14の競技力の飛躍的な向上では、国民体育大会天皇杯30位台の実現に向けた競技力の更なる強化を図るため、ハード・ソフト両面からの抜本的対策を展開してまいります。

3ページを御覧ください。

15の国際スポーツ大会レガシーの継承・発展では、東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシーを継承し、オリンピック、パラリンピアンと県民との交流や国際交流を促進するとともに、再延期されたワールドマスターズゲームズの成功に向け、機運の維持及び大会ノウハウの継承を図ってまいります。

16のスポーツツーリズムの創造では、徳島県スポーツコミッションを核とした積極的なスポーツ大会、合宿の誘致を行うとともに、国内外のトップ選手、チームを招へいし、ハイレベル交流を実施することにより、スポーツツーリズムの創造を図ってまいります。

4ページを御覧ください。

令和4年度一般会計予算についてでございます。

未来創生文化部の令和4年度一般会計当初予算案の総額は、表の左から2番目A欄の最下段に記載のとおり187億6,330万4,000円となっております。財源につきましては、財源内訳欄に記載のとおりでございます。

5ページを御覧ください。

特別会計についてでございます。

次世代育成・青少年課所管の母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計におきまして、2億4,903万1,000円を計上しております。

6ページを御覧ください。

各課別主要事項につきまして、主なものを御説明申し上げます。

未来創生政策課関係でございます。

目名、計画調査費の摘要欄②、イのとくしまパートナーシップ推進事業では、NPO、ボランティアなどの社会貢献活動を促進するため、個別相談や各種研修の実施、とくしま県民活動プラザの運営に要する経費など4,605万7,000円を計上しております。

未来創生政策課の予算総額は25億1,564万3,000円となっております。

7ページを御覧ください。

ダイバーシティ推進課関係でございます。

目名、計画調査費の摘要欄①、アの（ア）ダイバーシティとくしま推進事業では、多様な主体が共生、交流、活躍できる社会を実現するため、個人や団体を表彰するダイバーシティとくしま大賞（仮称）を創設するとともに、フューチャーセッションやフォーラムを開催する経費として400万円を計上しております。

摘要欄②、ウの（ア）ユニバーサルカフェ支え合い促進事業では、ユニバーサルカフェ

の運営をサポートし、更なる活性化を図るため、クラウドファンディングなどについて学びの場を提供するとともに、オンラインによる地域を越えた交流機会を創出するための経費として300万円を計上しております。

8ページを御覧ください。

目名、老人福祉費の摘要欄①、アの高齢者の生きがいと健康づくり推進事業では、明るく活力ある長寿社会とするため、高齢者の生きがいや健康づくり等を推進する経費として1億4,823万5,000円を計上しております。

以上、ダイバーシティ推進課の予算総額は3億9,615万4,000円となっております。

9ページを御覧ください。

男女参画・人権課関係でございます。

目名、青少年女性対策費の摘要欄①、イの（ア）コロナに負けない！女性つながりサポート事業では、孤独、孤立で不安を抱える女性が社会とのつながりを回復することができるよう、NPOなど民間団体の能力を生かしたきめ細やかな支援を実施するための経費として1,500万円を計上しております。

目名、社会福祉施設費の摘要欄①、社会福祉施設整備事業費ではイの隣保館整備事業費補助金など2,763万8,000円を計上しております。

10ページを御覧ください。

目名、婦人保護費の摘要欄①アの（ア）性暴力被害者支援センター運営費では、よりその樹とくしまの運営に要する経費など754万4,000円を計上しております。

目名、人権施策推進費の摘要欄①、人権啓発推進費ではイのみんなが主役の人権啓発推進事業や、ウの若者発！人権啓発映像コンテンツ発信事業など、人権啓発に係る経費として3,608万3,000円を計上しております。

11ページに移りまして、摘要欄②人権教育啓発推進センター運営費では、人権教育啓発の推進拠点であるあいぽーと徳島の運営費として7,836万円を計上しております。

以上、男女参画・人権課の予算総額は6億2,578万6,000円となっております。

12ページを御覧ください。

次世代育成・青少年課関係でございます。

目名、計画調査費の摘要欄①地方創生の深化のための支援費では、周囲に頼りながら楽しく育児を行うチーム育児の推進や保育士確保に向けた試験対策講座の実施に要する経費など942万円を計上しております。

目名、青少年女性対策費の摘要欄①青少年健全育成対策費では、未来に向かって挑戦し、成長・活躍できる「とくしま」を目指した青少年対策を推進する経費として986万5,000円を計上しております。

摘要欄③、アの青少年センター開館記念事業では、青少年センターの力強い再始動をアピールし、認知度向上と利用促進を図るための開館記念イベントを開催する経費として530万円を計上しております。

13ページに移りまして、目名、児童福祉総務費の摘要欄②、カのヤングケアラー支援事業では、実態調査や理解促進に向けた研修を実施するための経費として200万円を計上しております。

摘要欄④、児童健全育成対策費では、アの放課後児童対策事業費やイの（オ）とくしま

在宅育児応援クーポン事業，（カ）チーム育児推進！事業など，本県の少子化対策をより一層，充実強化するため，結婚，妊娠・出産，子育ての切れ目のない支援に要する経費として7億2,032万2,000円を計上しております。

摘要欄⑤，イの保育士養成施設に対する就職促進支援事業では，指定保育士養成施設が行う県内保育所への就職促進につながる積極的かつ新たな取組に支援を行うための経費として187万円を計上しております。

摘要欄⑦児童相談所費では，子供の最善の利益の実現のため，アのこども未来応援プラン推進事業として里親支援体制の推進や市町村の相談体制強化，児童養護施設等の施設機能強化等を支援する経費など4億304万6,000円を計上しております。

14ページを御覧ください。

摘要欄⑨，アの次世代はぐくみ未来創造基金積立金では，各種少子化対策を機動的に推進するため，基金を積み増す経費として3億5万3,000円を計上しております。

続きまして，目名，母子福祉費の摘要欄①母子福祉等対策費では，様々な悩みを抱えるひとり親家庭等に対する総合的な支援に要する経費など1億3,508万4,000円を計上しております。

以上，次世代育成・青少年課の予算総額は115億4,247万5,000円となっております。

15ページを御覧ください。

次世代育成・青少年課所管の母子父子寡婦福祉資金貸付金特別会計でございます。

母子家庭，父子家庭及び寡婦の経済的自立の助成を図るための経費として，総額2億4,903万1,000円を計上しております。

16ページを御覧ください。

文化・未来創造課関係でございます。

目名，計画調査費の摘要欄②，アの「阿波人形浄瑠璃」魅力発信派遣事業では，阿波人形浄瑠璃の魅力を広く発信するため，人形座を海外に派遣し，デジタルふすま襖からくりを活用した公演を行うための経費として1,000万円を計上しております。

目名，文化及び文化財費の摘要欄①文化振興費では，アの放課後子ども文化体験プログラム事業やエのとくしま文化・未来創造事業，オの「あわ三大音楽」連携創造事業など，2025年大阪・関西万博や徳島文化芸術ホール（仮称）の開館を見据え，県民の皆様が文化芸術を体感し，あわ文化の魅力を広く発信するための経費として1億3,668万8,000円を計上しております。

また，摘要欄③新ホール整備事業費では，徳島文化芸術ホール（仮称）の基本設計及び実施設計並びに管理運営基本計画の作成に向けた検討を行うための経費として6億4,403万円を計上しております。

以上，文化・未来創造課の予算総額は12億5,817万円となっております。

17ページを御覧ください。

文化資源活用課関係でございます。

目名，文化及び文化財費の摘要欄①文化財保護費では，文化財の次世代への継承や埋蔵文化財の保存，活用の推進，文化財ファンの拡大などを図るための経費として9,133万7,000円を計上しております。

文化資源活用課の予算総額は6億2,296万9,000円となっております。

18ページを御覧ください。

文化の森振興センター関係でございます。

目名，文化の森総合公園文化施設費の摘要欄②，アのとくしまネットワーク図書館システム更改費では，図書館利用者の更なる利便性の向上とサービス拡充のため，非来館型のバーチャル書架やオンライン蔵書検索など，図書館システムの更改に合わせ，新たな機能を導入するための経費として6,426万5,000円を計上しております。

また，摘要欄③，アの博物館誘客強化事業では，新生博物館の知名度や来館者満足度の向上を図るため，観覧環境の整備やコンテンツの拡充を進めるとともに，情報発信を強化するための経費として1,800万円を計上しております。

以上，文化の森振興センターの予算総額は9億110万4,000円となっております。

19ページを御覧ください。

スポーツ振興課関係でございます。

目名，計画調査費の摘要欄②，ア及び目名，体育振興費の摘要欄④，アのサイクリングロードプロジェクト，イのサイクルツーリズムプロジェクトでは，サイクリングコースの創設，更新やサイクルイベントの実施，サイクリングガイドの養成などにより，自転車王国とくしまの更なる充実を図るための経費として，合わせて1,389万6,000円を計上しております。

また，目名，計画調査費の摘要欄②，ウ及び目名，体育振興費の摘要欄④，エの新たなスポーツ大会・合宿スタイル発信事業では，スポーツ大会合宿誘致を推進し，本県競技団体とのハイレベル交流やアクティビティ体験の実施により，本県スポーツブランドの更なる向上を図るための経費として，合わせて4,010万円を計上しております。

同じく，計画調査費の摘要欄②，エのワールドマスターズゲームズ関西レガシー先行事業では，本番大会に先駆け各競技会を開催することで，機運の維持及び大会ノウハウの継承につなげるための経費として950万円を計上しております。

目名，体育振興費の摘要欄①，エ，徳島県スポーツ・文化未来創生基金積立金では，東京オリンピック・パラリンピック徳島未来創造基金を継承，発展させ，本県のスポーツ，文化の更なる振興を図るため，徳島県スポーツ・文化未来創生基金を設置する経費として1,002万4,000円を計上しております。

摘要欄④，ウの「全国レクリエーション大会 in 徳島」開催事業では，令和5年度に予定されている徳島県大会を成功に導くため，プレ大会の開催や大会PRを行うための経費として244万7,000円を計上しております。

以上，スポーツ振興課の予算総額は9億100万3,000円となっております。

20ページを御覧ください。

その他の議案等につきまして，条例案を2件御説明いたします。

アの徳島県文化の森総合公園文化施設条例の一部を改正する条例につきましては，施設の利便性の向上を図るため，ウェブ会議等のための用具を県民の利用に供する必要があることから改正を行うものでございます。

施行期日につきましては，令和4年4月1日としております。

イの東京オリンピック・パラリンピック徳島未来創造基金条例の一部を改正する条例につきましては，東京オリンピック・パラリンピックの開催に係る本県への選手等の受入れ

に際して、新型コロナウイルス感染症対策に関する事業が終了したことに伴い、題名を徳島県スポーツ・文化未来創生基金条例に改めるとともに、県民の皆様のスポーツや文化に対する関心を高め、これらの活動に参加する社会的機運を醸成することに加え、東京オリンピック・パラリンピック等の成果を継承し、本県のスポーツや文化を振興することにより、活力ある徳島の未来を創生するため、改正を行うものでございます。

続きまして、総務委員会説明資料（その2）を御覧ください。

令和3年度一般会計補正予算案につきまして、御説明申し上げます。

1 ページを御覧ください。

一般会計の歳入歳出予算についてでございます。

補正総額につきましては、総括表一番下の計欄の左から3列目に記載のとおり、6億5,547万5,000円の増額をお願いいたしておりまして、補正後の予算総額はその右の欄のとおり、205億88万5,000円となっております。

補正額の財源内訳につきましては、括弧内に記載のとおりでございます。

2 ページを御覧ください。

課別主要事項につきまして、御説明申し上げます。

次世代育成・青少年課関係でございます。

目名、児童福祉総務費の摘要欄①、アの児童養護施設等環境改善事業では、児童養護施設等において感染症対策を図りながら業務を継続していくため、衛生用品の購入や看護師を派遣するための経費として1,305万円を計上しております。

目名、児童措置費の摘要欄①、アの社会的養護従事者処遇改善事業では、児童養護施設などで従事する方の処遇改善を図るため、収入を3パーセント程度引き上げるための経費として2,300万円を計上しております。

目名、母子福祉費の摘要欄①、アのひとり親家庭就業支援強化事業では、ひとり親家庭が経済的に安定、自立した生活を送るため、より収入の高い就業を可能にする資格取得から就業までの長期的な支援を実施するための経費として415万4,000円を計上しております。

次世代育成・青少年課の補正後の予算総額は117億54万8,000円となります。

3 ページを御覧ください。

文化・未来創造課関係でございます。

目名、文化及び文化財費の摘要欄①、アのとくしま「eスポーツ」推進加速化事業では、地域活性化やeスポーツの裾野拡大を図るため、県主催の全国大会の開催や地域団体等が実施するeスポーツイベントを支援する経費として1,000万円を計上しております。

文化・未来創造課の補正後の予算総額は9億6,662万8,000円となります。

4 ページを御覧ください。

スポーツ振興課関係でございます。

目名、計画調査費の摘要欄①、アのワールドマスターズゲームズ関西レガシー先行事業では、先行大会においてオンライン上の競技運営管理など、新型コロナウイルス感染症対策を行うための経費として250万円を計上しております。

同じく、計画調査費の摘要欄②、ア及び体育振興費の摘要欄①、イのスポーツのある日常創出事業では、新たな青少年センターのスポーツ施設機能を補完するとともに、スケー

トボードやスリー・エックス・スリーなどのアーバンスポーツに対応した施設を整備するための経費として、合わせて3億4,500万円を計上しております。

目名、体育振興費の摘要欄①、アのスポーツDX推進事業では、新型コロナウイルス感染防止のために運動不足となっている方々が、安全・安心にスポーツに取り組むことができるようオンラインを活用した持続可能なスポーツ環境を整備するための経費として350万円を計上しております。

スポーツ振興課の補正後の予算総額は23億2,538万4,000円となっております。

5ページを御覧ください。

繰越明許費についてでございます。

青少年センター整備事業費では、アイアンショックやウッドショックなどにより、建築資材の調達が遅れていることに伴い、工期に遅れが生じていることから、新たな青少年センターの移転に要する経費として5億9,586万2,000円を繰越予定額としてお願いするものでございます。

青少年センター整備事業費以外の事業につきましては、ただいま御説明いたしました補正予算について、全額を繰越予定額としてお願いするものでございます。

以上が、今議会に提出を予定している案件でございます。

井下委員長

午餐のため、休憩いたします（11時52分）

井下委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開します。（13時02分）

上田部長、続きをお願いいたします。

上田未来創生文化部長

それでは、午前中に引き続きまして、この際、3点御報告させていただきます。

資料1-1を御覧ください。

「とくしま青少年プラン2022」（案）についてでございます。

本計画につきましては、11月定例会の当委員会におきまして、中間取りまとめについて御報告申し上げ、御論議いただいたところでございます。その後、パブリックコメントを実施し、県民の皆様からの御意見や審議会での御論議を踏まえまして最終案としております。

4、計画の施策体系でございますが、県内の青少年を対象に実施した意識調査の結果や国の子供・若者育成支援推進大綱を踏まえ、基本理念として、未来に向かって挑戦し、成長活躍できる「とくしま」の実現を掲げ、全ての青少年の健やかな育成をはじめ、五つの基本目標を定めております。

5、計画の成果目標では、青少年センター利用者数をはじめ、子供・若者支援者の養成講座受講者数など15の成果目標を設定しております。

なお、プラン最終案の詳細につきましては、資料1-2のとおりでございます。

今後は、市町村や関係機関と連携を図りながら、基本理念の実現に向けて取組を進めて

まいります。

続きまして、資料2を御覧ください。

コロナ禍における子どもと保護者を対象とした実態調査についてでございます。

この調査は、昨年6月定例会の本会議における御論議を受け、また、昨年度、教育委員会が実施したコロナ禍における児童生徒の心の状態に関する実態調査から1年が経過することから、1、調査目的のとおり、今般のコロナ禍において子供や保護者が抱える不安や悩み、ストレス等の状況について、教育、子育て支援などの関係部局が連携し、実態調査を通して把握することで、きめ細かな対策や相談支援体制の充実につなげることを目的としております。

2、調査方法については、抽出した県内公立学校の児童生徒及び保護者を対象に、無記名調査として、児童生徒は一人1台端末を活用し、令和3年10月4日から25日の間で実施いたしました。

3、調査結果のポイントとしては、不安や悩み、ストレスについて、ある、少しあると答えた子供は62.0パーセントであり、そのうち40.8パーセントの子供が新型コロナウイルス感染症の影響があると答えており、昨年度と大きな変化はございませんでした。

また、子供に不安や悩み、ストレスがあると答えた保護者のうち68.1パーセントが、子供の不安や悩み、ストレスに新型コロナウイルス感染症の影響があると回答し、子供の回答を上回る結果となりました。

不安や悩みに関する子供の相談先としては、家族、友達と回答した割合がそれぞれ7割を超えて特に高くなっており、次いで、学校の先生が12.1パーセントと、身近な存在で関わりの多い人に相談しております。

また、保護者自身の悩みや困り事として、約半数の保護者が育児、子育て、教育と回答し、解決するための仕組みとしては、支援制度等に関する情報発信などを求める意見が多くなっております。

4、今後の対応といたしましては、この調査結果を学校、関係機関等と共有し、教育相談の充実のための資料として活用することで、子供の不安や悩み、ストレスに適切に対応してまいります。

また、子供や保護者の方が一人で不安や悩みを抱え込まないように、関係部局の密接な連携の下で、迅速な支援につなげるための相談窓口や支援制度などの情報を効果的に発信するなど、安全・安心に教育や子育てを行う環境整備を図ってまいります。

最後に、資料はございませんが、鳴門総合運動公園野球場に係る今後の在り方に関する検討についてでございます。

鳴門総合運動公園の野球場、いわゆるオロナミンC球場は、建設後、本年で48年が経過し、老朽化が進行していることから、昨年末、野球関係者、学識経験者、建築分野の専門家などの皆様を委員とする鳴門総合運動公園野球場の在り方検討会議を立ち上げ、同球場の今後の在り方について、検討を行っているところであります。

これまでの検討会議においては、老朽化対策の手法や目指すべき将来像などに関する御意見を頂いているところであり、今後、検討会議における御意見を踏まえつつ、県議会においても御論議を頂きながら、今後の在り方を示す基本計画案を取りまとめてまいりたいと考えております。

報告事項は以上でございます。  
御審議のほど、よろしくお願い申し上げます。

#### 井下委員長

以上で説明等は終わりました。  
これより質疑に入ります。  
それでは、質疑をどうぞ。

#### 原委員

部長、御説明ありがとうございました。  
私からは、先ほど報告がありました、コロナ禍における子供と保護者を対象とした実態調査について、何点かお伺いしたいと思います。  
まず、調査結果について、概略は御説明いただきましたが、もう少し詳しく教えていただきたいと思います。

#### 飯田男女参画・人権課長

ただいま原委員から、実態調査の結果につきまして御質問がございました。  
部長が今、概略を御説明申し上げたところでございますが、そこから少し詳しく申し上げます。この子供への調査結果におきまして、不安や悩み、ストレスがある、また、少しあると回答し、かつ新型コロナウイルス感染症の影響があると回答した方の不安や悩み、ストレスの主なものについては、複数回答となっておりますが、最も多いのが自分や家族が感染することが42.1パーセント、また次いで、学校行事のことが37.9パーセント、また文化、スポーツ、部活動や習い事のことが28.2パーセント、健康や体調のことが25.6パーセントとなっております。  
また、保護者への調査結果におきまして、保護者自身の悩みや不安、困り事の主なものにつきましては、先ほど育児、子育てとございましたが、こちらが49.6パーセント、健康、病気、障がいなどが36.0パーセント、メンタルヘルスやストレスなどが36.0パーセント、そして仕事、雇用、転職、再就職、起業などが31.4パーセントとなっております。  
また、不安や悩み、ストレスがあるときに、誰かに相談できているかとの問いもさせていただいております。子供の34.0パーセント、また保護者の40.4パーセントが、余りできていない、又はできていないと回答いたしております。  
その理由といたしまして、子供につきましては、相談しても解決しないが28.9パーセント、自分で解決できるが28.3パーセント、相談する人がいないが14.5パーセントとなっております。保護者につきましても、相談しても解決しないが56.0パーセント、相談する人がいないが26.8パーセント。そして自分で解決できるが17.9パーセントとなっております。  
こうした調査結果から、コロナ禍の影響が長期化する中で、子供や保護者が、様々な不安や悩み、ストレスを抱えている状況を改めて把握させていただいたところでございます。

#### 原委員

調査結果については、大変よく分かりました。

今回の調査に当たっては、我が会派の井下委員長の本会議での一般質問による提案を踏まえ、部局間連携の下で実施されたと承知しておりますが、コロナ禍が長期化する中、子供や保護者など家庭への様々な影響を考えますと、部局の縦割りや支援制度の谷間で取り残されることがないように、関係部局が連携した対策が必要と思っておりますが、どのように取組を進めていくのかお聞かせいただきたいと思います。

#### 飯田男女参画・人権課長

ただいま、関係部局が連携した取組ということで御質問を頂きました。

今委員からお話がありましたように、今回の調査につきましては、県議会での御論議を踏まえ、教育関係機関のみならず、子育てや保護者の相談支援に関わる関係部局が連携した調査チームを編成いたしまして、当部からも男女参画・人権課とこども未来応援室が参画し、実施いたしましたところでございます。

また、県の各部局や教育委員会におきましては、様々な相談窓口の設置をはじめとして、コロナ禍での支援を行っているところでございます。今回の調査結果を受けまして、相談機関や支援制度に関する情報を子供や保護者の方に確実に届けられることが必要であると認識しております。

今回の調査結果を見ますと、子供や保護者の方の相談相手として、やはり学校が上位に挙げられているところでございまして、学校そのものや、そこから発信される情報に対する注目度、信頼度が高いと考えております。

そこで、今後の取組といたしまして、教育委員会と連携し、本調査結果を学校や関係機関はもとより、保護者の皆さんへ周知をするとともに、その際に併せまして関係部局における相談機関や支援窓口等を子供や保護者の皆さんへ御案内することにより、学校からの情報として活用いただき、悩みや不安等を抱え込まず、早期に相談ができるように取り組んでまいりたいと考えております。

また、調査結果につきましては、関係部局で共有いたしまして所管する相談機関等における体制や支援の充実、連携につなげてまいりたいと考えております。

#### 原委員

教育委員会と連携した取組について御答弁を頂きました。

今回、部局間の連携の下、新たに保護者に対する調査が行われ、コロナ禍における悩みについては、子育てだけではなく、健康や仕事、家計など様々な悩みがあることが実態として分かったことは大変よかったですと思います。

さらに、調査では、相談しやすい仕組みづくりとして、PRや情報発信とともに相談の多様化も必要であるとの結果が出ております。この点についても、取組を進めてほしいと考えていますが、どんな感じか、教えていただけますか。

#### 飯田男女参画・人権課長

ただいま委員より、相談方法の多様化についての御質問を頂きました。

現在、県におきまして様々な相談窓口の設置、またコロナ禍における支援を行ってござ

います。

今回の結果、また現場の声から相談支援に関する情報発信が十分届ききっていない状況、また支援を必要とする人が、例えば、役所の窓口の敷居の高さを感じたり、心理的な問題から電話の相談がしにくいといったようなケースがあるものと考えております。こちらにつきましては、それぞれ関係部局、課におきまして、しっかりと把握をして取り組んでいくことが重要であると考えております。

当課におきましては、今年度、コロナ禍でより大きな環境の変化を強いられている母親をはじめといたしました女性の孤独や孤立に寄り添った支援を行う、コロナに負けない！女性つながりサポート事業を実施いたしております。

例えば、行政相談窓口よりも敷居の高くないピアサポーターによる相談対応。また、LINEチャットを入り口としたオンライン相談、訪問支援を含むアウトリーチの実施、地域で気軽に相談の機会に接することができる居場所づくりといった多様な手法で相談につなげる工夫を行っているところでございまして、今回の調査結果も踏まえて取組を強化しているところでございます。

さらには、ひとり親家庭への支援におきましても、母子・父子自立支援員によります寄り添い型相談支援の実施はもとより、育児や仕事のために相談窓口に行くことが難しいひとり親家庭などの相談を促し、自立に向けた適切な支援につなげていくため、心理的なハードルが低いと言われておりますLINEを使った相談窓口を開設するなど、多様なスタイルでの相談支援体制の充実に努めているところでございます。

今後とも、県民ニーズを踏まえまして創意工夫を凝らした相談の多様化により、子供や保護者の皆さんが悩みや不安、ストレスを抱え込むことなく、必要な支援につながるができるように取り組んでまいりたいと考えております。

#### 原委員

大変よく分かりました。

今回の結果ももちろんのことですが、庁内連携によってこういった取組ができたことは本当に大変素晴らしいことだと思います。

出てきた結果をどう検証して対応していくのかが本来の目的であります。保護者への生活支援や相談など、学校からどう担当部局へつないでいくのか。また、今回は無記名でしたが、子供や親のSOSを素早くキャッチするには、名前を特定するほうがいいのではないかなど課題もあると思います。

アンケート結果にもあるように、必要な人にアウトリーチするには、今の取組だけでは物足りないと感じております。

今後、同じような事業をそれぞれの担当課でやるのではなく、連携し、しっかりとした予算を付けて、多くの声を拾えるようにしていただきたいです。

最後になりますが、こども家庭庁が創設されます。この徳島県の取組が全国に先駆けたものとなるよう、気概を持って取り組んでいただきたいと思います。頑張ってください。よろしく申し上げます。

#### 梶原委員

私は、1点だけお伺いします。

ひとり親家庭就業支援強化事業として補正予算で400万円余りが上げられています。14か月予算の参考資料を見せていただくと、この事業内容がドラッグストアで働く登録販売者という資格を取ってもらって、ひとり親家庭の方の収入アップにつなげるということで、非常に良い事業だと思うんです。こうした事業の周知をどのようにされているのかと、ずっと継続してやられてきた事業と聞いていますけれども、資格の取得から就労につながった実績を教えてくださいたいと思います。

山名こども未来応援室長

梶原委員より、ひとり親家庭就業支援強化事業につきまして御質問を頂きました。

この事業の説明を簡単にさせていただきます。この事業は、新型コロナウイルス感染症に起因する雇用環境の悪化に伴い、ひとり親家庭に深刻な影響を及ぼしていることを踏まえまして、令和3年度から令和4年度にも引き続き、ひとり親家庭の経済的安定を図るため雇用ニーズの高い資格の取得を促進し、ひとり親の正規雇用を目指し実施するものでございます。

事業の実施に当たりましては、県が母子家庭等就業・自立支援センター事業を委託しております県母子寡婦福祉連合会におきまして、専門性の高い公的資格ということで、登録販売者資格を取得するための講習会をオンラインで開催させていただくとともに、就業支援バンクへの登録、求人情報の提供など、資格取得から就業までのサポートによりまして、ひとり親家庭の経済的自立を図ることといたしております。

なお、御質問の周知につきましては、まず、先ほど御説明いたしました事業を委託しております県母子寡婦福祉連合会におきまして、公式ホームページ、LINEなどによる広報をはじめ、チラシ配布のほか、各福祉事務所に配置され、ひとり親への寄り添い支援を行っております母子・父子自立支援員から直接周知を行うなど、様々な機会を捉えて、ひとり親への情報が確実に届くように周知を行っているところでございます。

また、登録販売者の就労までの実績につきましても、御質問いただいております。

講習会自体は、定員30名のところ34名の受講者がございました。資格試験受験者は23名、資格試験に合格された方が7名、現在、令和4年1月1日現在の就業につながった方につきましては、お二人ということでございます。今年度、受験に至らなかった方も10名程度ございまして、無料配布のテキスト等はそのまま活用いただけますので、次年度以降に受験いただきたいと考えております。

梶原委員

非常に大事な事業だと思います。

ドラッグストアで働く登録販売者という方を、私も知らなかったんですけども、今、コロナ禍で特にひとり親家庭の方で大変な御苦勞をされている方が多いんです。周知の仕方も御説明いただきましたけれども、こうした事業を知らない方もまだまだおられるようですので、今後はドラッグストアの登録販売者の資格取得だけではなく、様々な業種にもこうした支援を広げていただいて、資格取得のバックアップをお願いできればと思っております。

また、これちょっとかもいは違うんですけども、今、国のほうでも、女性デジタル人材の育成ということで、女性のデジタルスキルの向上、就労支援のための地域女性活躍推進交付金というの、2022年度の予算に計上されているみたいですので、この辺もしっかり活用していただいて、ひとり親家庭の方を全力で守っていただきたいと思います。

先ほどもお話が出ましたけれども、女性つながりサポート事業についても、やはりコロナ禍で孤立されている女性の方も大変多く、そういう方がひとり親の場合も多々ございます。非常にこの有効な事業だと思いますので、これも、まだ余り知られていない、知らない方もたくさんいらっしゃいますので、是非これを周知にしっかり力を入れていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

#### 東条委員

徳島文化芸術ホールのことについてです。

私も駅は要らないというふうなことをよく聞きます。徳島駅から利用しやすいイベントバスとか、お得なタクシーなどを増設したり、人によれば動く歩道みたいなものを検討したらどうかなんていうお話を聞いているんです。駅に関しては県土整備部でお話をされているんですが、進捗状況とかいうのはこちらでは分からないですか。やっとな設計に掛かるような話を聞いているんですが、それはこちらでは分からない。

#### 内海文化・未来創造課長

今、東条委員からお話がありました徳島文化芸術ホールのJRの駅についての御質問です。そちらのほうにつきましては、県土整備部のほうで所管していただいておりますので、今、検討いただいているところです。

若干、途中で情報を頂いたりはしておりますけれども、基本はそちらのほうで進めていただいておりますので、その点を御了解いただければと思います。よろしく願いします。

#### 東条委員

はい、分かりました。

それと、以前にも駐車場のことでお話があったんですけども、徳島東警察署の跡に公園を置くということですが、公園は絶対造らないととイケないのか。若しくは、今から公園を駐車場に変えるということではできるのかということ。やはり駐車場があるほうが良いというお声をたくさん聞くんですけども、その点はいかがでしょうか。

#### 内海文化・未来創造課長

徳島文化芸術ホールの来館者用駐車場についての御質問でございます。

徳島文化芸術ホールにつきましては、11月17日に優先交渉権者と基本協定等を契約いたしまして、現在、協議を重ねながら、基本設計を進めているところでございます。

今、お話のございました駐車場に関しましては、5月に事業者を公募する際に、一般向けに情報提供させていただいた公募資料のうちの一つ、要求水準書の中におきまして、駐

車場の設置台数については施設面積に応じた附置義務台数を定める、徳島市における建築物に附置する駐車施設に関する条例を遵守し、同条例において示す必要台数を確保することとさせていただいたところでございます。

今、お話を頂きました公園の所に駐車場をというお話ですけれども、公園につきましては徳島市のほうが管理されておりまして、地域の皆様の憩いの場にもなっている所でございます。我々としましては、市の附置義務条例に基づきまして、必要な台数をしっかり確保するように進めてまいりたいと考えております。

#### 東条委員

徳島市の問題かと思うんですけれども、徳島市もちょうど市役所前の駐車場がなくなって、できたら駐車場をというような声もあります。

アスティの駐車場のようないしやすしい料金設定という要望もございますので、県としてもその旨も含んでいただき、今後、駐車場の増設というのも考えていただけたらというふうに思っています。要望ということで、お願いしたいと思います。

それと、ホールの維持管理についてなんですけれども、今後、もちろん自然エネルギーの活用を考慮されていると思うんですけれども、どういう計画を持たれているのか、分かれば教えていただきたいと思います。

#### 内海文化・未来創造課長

東条委員から、今後の施設の維持管理に関する御質問を頂いております。

今、ホールの基本設計をしているところでございます。詳細なところにつきましては、正にこれからというところでございます。

自然エネルギーの導入等々につきましては、まだそこまで至ってはおりませんけれども、なるべく全体として維持管理コストが低減できるように進めてまいりたいというふうに考えております。

#### 東条委員

県としても、GXということで掲げていただいておりますので、是非組み込んで、節約というか、全体を含めて考えていただけたらと思いますので、よろしく申し上げます。

#### 井下委員長

ほかに質疑はありませんか。

（「なし」と言う者あり）

それでは、これをもって質疑を終わります。

以上で、未来創生文化部関係の調査を終わります。

議事の都合により、休憩いたします。（13時30分）